

# 旅館

トモエ旅館 唐橋町新築で廣人美麗各室に電話あり規模待遇設備完備其上自動車も併營で定期  
は長門峽行其他貸切もある長北無比の高等旅館

富田 旅館

橋本町阿武川の岸邊眺望絶佳高層の二階建てで自動車もある萬事徹底せる一流旅館

一二三旅館

唐橋町山本與一氏經營新築の廣大なる現代的設備で待遇親切萩隨一の上等旅館

吉山 旅館

上五間町本支兩館ある廣大なる二階建で清潔美麗設備待遇共に徹底位置は中樋で

自動車もあれば不自由なく萩隨一の旅館

田坂屋旅館

唐橋町設備待遇共に完全且本館は市の中央で處用を辨するには最好位置

大阪屋旅館

唐橋町萩名代の旅館で設備待遇共に徹底

中村 旅館

渡り口新築二階建設備待遇共に完全宿料其他が低廉は本館の特色と云ふ

柳屋 旅館

唐橋町本館の特色は叮嚀親切廉價

## 總記

萩は慶長八年毛利輝元公開府以來三百年を経たる累代の城下で明治四年藩籍奉還迄は防長二州政治の中心地であつた山日縣阿武郡の西北に位し日本海に臨み南は秋芳洞の奇勝西は海岸美の青海島を控へ東は溪谷美を以て鳴る長門峽の下流阿武川に包まれたる不等扁三角洲の土地で面積は七方里人口は三萬二千を有す而して東西南の三方は青巒起伏して清爽なる空氣の裡に名所舊跡其他史蹟が散在して宛然廣大なる遊覽地でもある

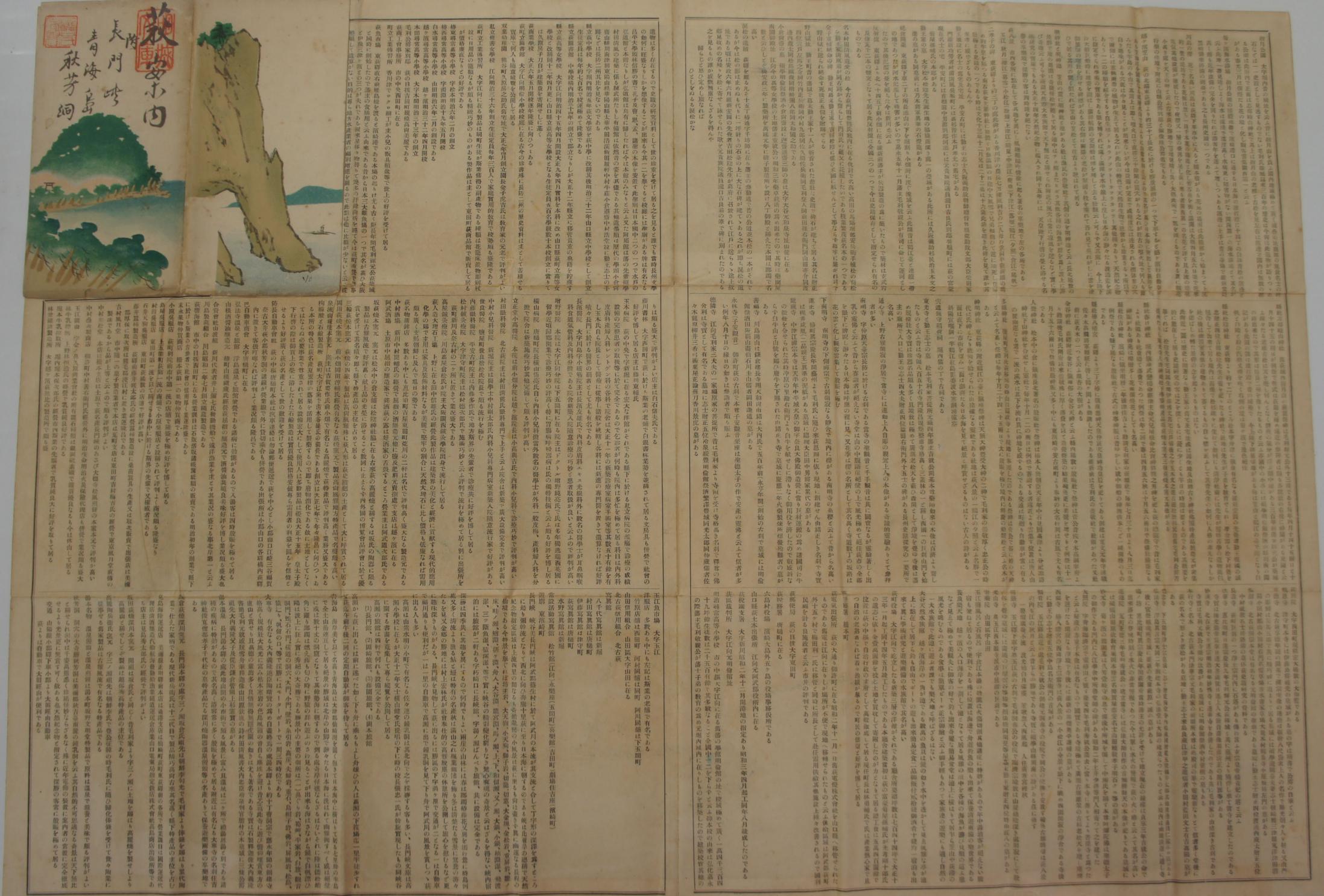
維新前後は維新宏圖の先驅者吉田松陰を始め木戸孝允高杉晋作久坂玄瑞村田清風山田顯義伊藤博文山縣有朋桂太郎品川彌二郎野村靖前原一誠奥平謙亮其他勤王の志士名士が雲の如く出て居る

名産の主なるものは夏蜜柑と蒲鉾萩燒陶器海產物竹細工夏蜜柑莫子其他である夏蜜柑は古來の特產物で年額三百萬貫價格は優に四十萬圓に上りて居る殊に脚氣に特効があると云ふので近來は賣口が一層激増して來た蒲鉾は燒抜きと稱して萩獨特の製法で比類が無い年額三十萬圓で年末年始土產其外贈答品として廣く好評され其名全國に高い

時世の進化で萩も漸次現代氣分となり商工都市の建設期で活氣が漲りて來た生産力は一ヶ年海陸合はせて五百萬圓を突破して居る

又た萩港は昭和二年十二月開港を指定され島谷汽船は仁川を起點とし大連鎮海湾郡山木浦釜山浦頭萩境宮津舞鶴新舞鶴敦賀伏木函館小樽の定期寄港地で朝鮮郵船は隔月北韓より萩下關經由東京に至る寄港地である  
交通は山陽本線厚狭驛で美禰線に乗り替へ萩に至る自動車なれば一旦小郡驛に下れば萩行自動車がある里數十一里で賃金は二圓五十錢内外時間は二時半を要す





整頓して遺算がない目的は専ら地方水産業者の福利増進を圖るので此點は他に比類が少ないと云ふて賣上高も年を逐ふて好況に向ひ年間優に壹百萬圓以上を突破しつゝある現代主任金子眞市氏である

町立傳染病院 堀内

神理教阿武郡事務所 長北に於ける名數支教會の主腦部で頗る盛大殊に禁厭祈禱所で病氣災難其靈驗

蹟的なりとて評判高く所長は中教正久志幸彦氏である

天理教奈良教會萩支會 大字江向支會長は大講議北出善太郎氏で長州部に於ける同校會の先驅者で信又た多く盛大である

天理教萩分教會 平安古町に在る

神道實行教萩支教會 玉江驛の上風景佳なる所にある

第百十銀行萩支店 東田町

長周銀行萩支店 東田町

萩商品館 東田町に在る有ゆる萩の生産品を出品陳列販賣して居る主なるもの陶器竹細工海產物等である

松本商品館 松本松陰神社横脇に在る萩の長門物産を陳列して居る

白銀書林 大字東田町所謂市中目抜きのところ萩二大書舗の一つで文房具販賣も併營であるが其營業

昭和三年十一月十五日印刷

昭和三年十一月廿五日發行

不許

複製

著作兼發行者 宮木二郎

山口縣阿武郡萩町大字平安古

印刷者 西野隆

山口縣山口町大字下立小路

發賣所 白石

山口縣萩町大字東田町

全 藤川

大字西田町

輔夫助



10